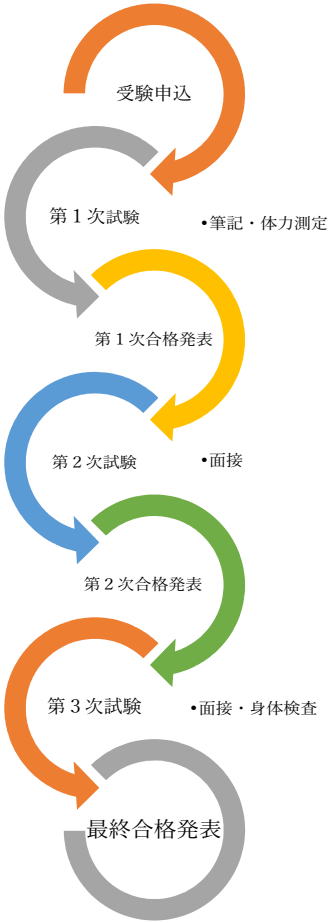
TAKARAZUKA

採用の流れ



お問い合わせ

宝塚市消防本部総務課（消防本部3F）
〒665-0033
宝塚市伊子志3丁目14番61号
（阪急今津線逆瀬川駅下車徒歩10分）
TEL 0797−73−1141 FAX 0797−77−3951

人を救う　未来を守る　新時代をわたしたちと

消防吏員

職員募集パンフレット

宝塚市消防本部
TAKARAZUKA FIRE DEPARTMENT.

宝塚市は、「歌劇と温泉のまち」として知られており、
およそ23万人が暮らす住宅都市です。
兵庫県南東部に位置し、まちの中心を武庫川が流れており、
住宅地が広がる南部市街地と、
豊かな自然に囲まれた北部田園地域から成っています。
市街地から大阪や神戸へはいずれも電車で30分ほどで、
年間877万人もの観光客が訪れます。

市民は消防職員に大きな信頼を寄せている。その信頼を現場や日々の業務のなかで揺るぎないものにする必要がある。

現場では市民の様々な要望に柔軟に対応する必要がある。また、高度化する消防技術にも柔軟な思考で取り組む必要がある。

市民が消防職員に求めるのは適切な現場対応である。消防職員としてどのような現場にも対応できる高い現場能力を発揮する必要がある。

DEPARTMENT 消防署

宝塚市消防本部は、消防本部を中心に2箇所の消防署と7箇所の出張所を配置し、あらゆる災害から市民生活の安全・安心を守っています。

❶ 消防本部・西消防署
❷ 南部出張所
❸ 栄町出張所
❹ 宝松苑出張所
❺ 東消防署
❻ 雲雀丘出張所
❼ 米谷出張所
❽ 中山台出張所
❾ 西谷出張所

火災件数 … 30 件
救急件数 … 13,707 件
救助件数 … 336 件
（※ 2023年中の件数）

消防職員 … 243人（うち女性12人）
緊急車両 … 39台
管轄面積 … 101.89 ㎢
人　　口 … 221,191 人
（※ 2024 年 4 月現在）

消防本部・西消防署合同庁舎

東消防署庁舎

ORGANIZATION 組織概要

消防本部

- 消防保安室
  - 総務課（17 名）
  - 予防課（7 名）
- 部隊管理室
  - 警防課（12 名）
  - 救急課（4 名）
- 通信指令室
  - 指令課（2 名）
  - 第 1 部（5 名）
  - 第 2 部（5 名）

西消防署

消 防 第 1 課 ・ 消 防 第 2 課

- 本署
  - 庶務係（2 名）
  - 警防隊（14 名）
  - 予防係（6 名）
  - 高度救助隊（16 名）
  - 救急隊（10 名）
- 南部出張所
  - 警防隊（12 名）
  - 救急隊（10 名）
- 栄町出張所
  - 警防隊（12 名）
  - 救急隊（10 名）
- 宝松苑出張所
  - 警防隊（12 名）

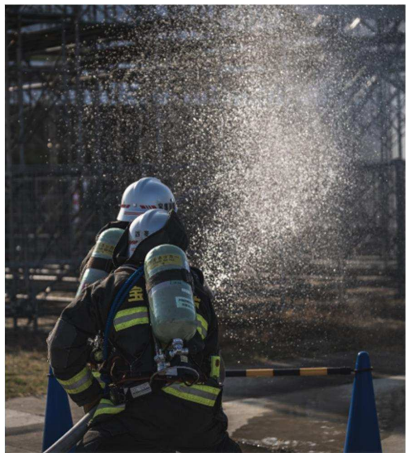
東消防署

消 防 第 1 課 ・ 消 防 第 2 課

- 本署
  - 庶務係（2 名）
  - 警防隊（17 名）
  - 予防係（6 名）
  - 救急隊（10 名）
- 雲雀丘出張所
  - 警防救急隊（12 名）
- 米谷出張所
  - 特別救助隊（12 名）
- 中山台出張所
  - 警防救急隊（12 名）
- 西谷出張所
  - 警防救急隊（12 名）

WORK LIST 業務一覧

01 警防(消火)



火災現場においては消火活動にあたり、災害対応以外にも防災訓練等の指導を行います

02 救急

救急現場に急行し、傷病者に適切な応急処置を行いながら、医療機関に搬送します

03 救助

災害現場で専門的な知識や技術、特殊な資機材を駆使し、人命救助を第一任務とします

04 指揮支援・情報収集

ドローンによる俯瞰的な視点により、火災、捜索、調査活動などの補佐情報を収集し的確に把握して、消火や救助活動を指揮・命令します

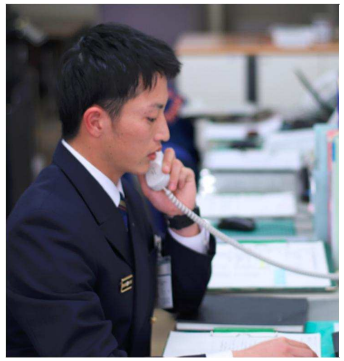
05 指令

火災・救助・救急等、市民からの119番通報を受け、必要な部隊へ出動を指示します

06 予防

火災の発生を未然に防ぐため、設備や防火管理体制の不備がないか検査、指導を行います

07 総務



予算、人事、給与、施設管理、福利厚生等の事務全般を担当します

WORKING SYSTEM 勤務体制

週休2日制で勤務を行う消防職員を「毎日勤務職員」と言い、消防本部や消防署において、総務業務や予防業務の事務などを担当しています。また、警防隊、救急隊、救助隊など災害対応する消防職員は、2交替制の24時間体制で勤務に就いており、「交替制隔日勤務職員」と言います。

交替制勤務 （シフト制　勤務時間　9:00～翌日 9:00） 警防隊員の1日

09:00 交替点呼（勤務開始）
前日の当務隊から業務を引き継ぎます

車両点検
車両や資器材に不備がないかを確認します

10:00 事務処理
担当する業務の事務処理を行います

12:00 休憩（昼食）

13:00 訓練指導
小学校や工場などの事業所に消防訓練の指導を行います

15:00 警防訓練
現場対応能力向上のため災害現場を想定した訓練を行います

17:00 体力トレーニング

18:00 休憩（夕食）

22:00 仮眠

日付が変わる

05:00 起床

06:00 事務処理
前日に残った担当業務の事務処理を行う

09:00 交替点呼（勤務終了）

交替制勤務の消防職員は
災害発生時に迅速に
対応できるよう
常に準備をしています
もちろん仮眠中にも
出動します

毎日勤務 （勤務時間　平日 9:00～17:30） 予防課職員の1日

09:00 ミーティング（勤務開始）
1日のスケジュール確認等を行います

10:00 業者対応
相談のため来庁された業者と協議をします

11:00 事務処理
業者との協議報告書を作成します

12:00 休憩（昼食）

13:00 完成検査
工場や事業所などの防火対象物に対し
定期的に査察を行います

14:00 事務処理
完成検査の報告書等の作成します

15:00 危険物施設査察
ガソリンなど危険物を保有する施設に
定期的に査察を行います

16:00 事務処理
報告書等の作成を行います

17:00 書類整理
届出書類の整理等を行います

17:30 勤務終了

RECRUITMENT 採用

宝塚市消防本部では、社会人経験者などを含め、幅広い方がより受験しやすくなるよう、受験年齢を拡大しました。

採用試験

採用試験は、第１次試験（能力試験（筆記）・体力測定）、第２次試験（面接）、第３次試験（面接・身体検査）の３回試験を行います。

内定

内定通知後は、制服の採寸、面談や採用前研修など、入庁後に不安なく勤務ができるよう約半年間サポートを実施します。

消防学校入校

入庁後は約６ヶ月間、兵庫県消防学校で消防業務の基礎を修得します。消防学校は全寮制ですが、週末は自宅で過ごすことができます。

消防署配置

兵庫県消防学校卒業後は、消防署へ配属され交替制勤務を行いますが、救急隊員の資格を取得するため、再度２か月間、兵庫県消防学校で救急に関する専門知識を修得します。

CARRIER PASS 昇任

消防職員には階級があり、昇任試験に合格することで昇任していきます。知識・技術・経験を発揮し、昇任することで給料も上がっていくため、多くのことを経験し、知識・技術を磨き続けることは非常に重要です。

消防士（1～5年目）

入庁後は兵庫県消防学校に入校し、半年間で消防業務の基礎を修得します。
その後、消防署に配属され、警防隊・救急隊として勤務し、消防職員として、社会人としての基礎力を高めます。

消防司令補（6～11年目）

災害現場で実際にホースを持ち消火活動を行う消防職員の中では最も上の階級です。隊長（消防司令）が不在の場合は、代わって小隊の指揮を執ることもあり、重要な役割を担います。

消防司令長（管理職）

災害現場で消防活動を行うことはほとんどありません。災害現場では、複数の小隊をまとめる統括指揮者の役割を担います。また、勤務先の所属長を務め、管理職として部下のマネジメントを行います。

消防士長（4～9年目）

初めての昇任試験に合格すると、消防士長の階級に昇任します。役割、責任、権限が重くなり部下ができます。消防士と協力し、災害現場の最前線で消火活動・人命救助を行います。

消防司令（8～14年目）

小隊の隊長として指揮を執ることが役割の中心で、災害現場では責任のある判断を下す立場になります。また、部下のリスク管理をはじめ、訓練の企画・立案を行い、小隊の能力向上に努めます。

消防監・消防正監（管理職）

消防監は消防署の消防署長を務め、消防署に従事する消防職員を指揮監督します。消防正監は消防本部の最高責任者である消防長を務め、消防本部全体の事務を統括し、消防職員を指揮監督します。

WORKING CONDITION 福利厚生

初任給

職務の危険性や勤務形態の特殊性を踏まえ、一般職員と異なる消防職給料表を適用しています。

大学卒	短大卒程度	高校卒
242,420 円	224,480 円	211,255 円

・上記の金額には地域手当(15%)を含んでいます

・その他、通勤手当・住居手当・休日勤務手当・特殊勤務手当などが支給されます

休暇制度

原則として4週間に8日の休みがあります。また、下の表のとおり様々な休暇制度がある中、ワークライフバランスの充実を目指し、特に男性女性共に育児休業の推進に努めています。

年次休暇	1年を通じて21日あります
特別休暇	結婚休暇(6日)・育児参加休暇(5日)・夏期休暇(7日)などがあります
育児休業	子が3歳になるまで育児のために休業することができます
子の看護休暇	小学生以下の子供を看護するため休暇を取得することができます
その他	リフレッシュ休暇・忌引休暇・ボランティア休暇・出産補助休暇などがあります

MESSAGE メッセージ

宝塚市消防本部の様々な分野で活躍する消防職員から、本市採用試験の受験を検討されている皆様に対してのメッセージです。

西消防署消防第1課　救急隊長

寺田消防司令　2010年入庁　兵庫県出身

妻と子供3人の5人家族、救急隊長として勤務しています。昨年は宝塚市の救急件数13,707件のうち、952件に出動しました。救急隊長のモチベーションは、野球で言うならピッチャーで4番の気持ちで頑張ることです。実は、高校時代に甲子園出場経験もある野球大好き人間ですが、30代後半になるとケガ予防のために、ストレッチや半身浴等の体のメンテナンスも欠かせないと感じています。救急業務も野球も健康と体づくりが基本です。みなさんも一緒に心も体も柔らかくしていきましょう。

東消防署消防第2課　警防隊員

久保消防司令補　2019年入庁　和歌山県出身

警防隊員として勤務しています。食べることと体を動かすことが好きです。仕事柄、日に当たることが多いので、20代終盤に差し掛かりスキンケアには力を入れるようになりました。保湿命です。
私のモットーはよく笑うことです。笑顔は世界の共通語と言われるように、自分も周りも幸せな気持ちにしてくれます。実際笑顔には幸せホルモンを分泌させる効果があるみたいですよ。心を丸く、今日もいっぱい笑いましょう。